

鳥取中央家畜市場に家畜改良センター産種雄牛を交配した去勢牛、雌牛を上場しました

家畜改良センター鳥取牧場は、平成 30 年 6 月 7 日の鳥取中央家畜市場に「光平栄」「菊知恵」を交配した去勢牛、雌牛を含め 12 頭を上場しました。



この他にも家畜改良センター産種雄牛「美津照重」「光平照」を交配した去勢牛、雌牛が上場されていました。出場頭数 290 頭のうち鳥取県有の種雄牛産子が 241 頭と、80%以上を占める中で、改良センター産種雄牛産子 10 頭も健闘していました。

特に、美津照重×勝安波×百合茂（メス）は、120 万円以上の高値でセリ落とされました。kg 単価は 4,669 円で、市場全体の平均 kg 単価を 1,000 円以上上回っていました。

ちなみに、鳥取牧場の母牛は兵庫系主体（肉質重視）なので上場した子牛達も小柄ではありませんでしたが、鳥取県が推奨する和子牛育成マニュアルに参加しており、セリ当日の測定などの要件を満たしていたため、12 頭中 7 頭が「粗飼料多給型生産子牛」として評価されました。

参考までに写真を掲載しますので、体型をご確認ください。



菊知恵×北乃大福×美津福（去）
287 日齢 体重 279kg
（家畜改良センター鳥取牧場産）



美津照重×忠富士×糸北国（去）
314 日齡 体重 305kg
（鳥取県内産）



美津照重×勝安波×百合茂（メス）
250 日齡 体重 291kg
（鳥取県内産）